

事務事業 No./名称	■サービス部門 都整-38 維持管理費(雨水) □支援部門							
主管課	下水道河川課	関連課	総合防災課					
分野名	下水道・河川							
目標 (目標値)	大雨や台風による洪水や溢水から市民を守る。							
人口等のデータ	データ区分	25年度	24年度	23年度	備考			
	人口	177,895人	177,224人	177,204人	・各年4月1日 (住民基本台帳)			
	世帯数	80,295世帯	79,669世帯	79,217世帯				
	事業の対象者数							
運営資源状況	決算値(千円)	50,707	37,792	65,058				
	(国・県)							
	(負担金等)							
	(一般財源)	50,707	37,792	65,058				
	人員配置数	2.1人	2.1人	2.8人				
	人件費(千円)	16,534	16,911	33,164				
	協働のパートナー							
事務事業 運営経費	総事業費(千円)	67,241	54,703	98,222				
	市民1人当りの経費(円)	378	309	554				
	対象者1人当りの経費(円)							
ベンチマーク(県内 外自治体や民間団体 との比較値)	団体名⇒							
指標	評価	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	最終年度(27年度)	
雨水幹線の補修延長・修繕要望対応件数	○	目標値	200m 150件	200m 150件	200m 150件	200m 150件	200m 150件	
		実績値	175m 220件	154m 235件	19m 199件	729m 170件		
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退								

中事業に含まれる小事業の方向性(⇒個別事業の概要は裏面)

(千円)

H25小事業名	H25決算値	H26小事業名	H26予算額	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止				
維持管理費(雨水)	50,707	雨水排水施設維持管理費の一部	63,499	今後の方向性	A	理由・手法	大雨や台風による洪水や溢水から市民の生命と財産を守るため、長寿命化計画を策定し、補助金を確保しながら、雨水施設の維持管理を行う。	
				今後の方向性		理由・手法		
				今後の方向性		理由・手法		
				今後の方向性		理由・手法		
				今後の方向性		理由・手法		

中事業の評価(事務事業の課題、取組状況、今後の方向性)

H25年度の課題	大雨等による浸水被害を抑え、施設の老朽化が原因で発生する道路陥没等から市民生活の安全を確保するため、劣化箇所を改修を推進する。											
課題解決のための取組	安全性を考慮し、低廉な工法を採用することにより、可能な限り浸水被害の解消を図った。						取組の結果	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 未解決				
未解決の課題	雨水管渠等の劣化診断調査結果に基づく修繕必要箇所が未改修のまま多数残っている。											
中事業の評価	適切=○要改善=△(2面「評価の視点」を参照)				①効率性	○	②妥当性	○	③有効性	○	④公平性	○
今後の方向性 (課題解決に向けた取組・H26予算への反映)	雨水排水施設の修繕工事は、突発的で緊急性の高いものが多いことから、作業センター等の庁内連携を適切に図って緊急時に備えることはもとより、施設の健全度評価に基づいた事業を進める。						A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止		A ※□事業完了			

評価者名

下水道河川課担当課長

甘粕 潔

